

令和 5 年 5 月 8 日現在

機関番号：12606

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01221

研究課題名（和文）芸術における真正性と同一性の保存 リバース・コンサベーションの確立

研究課題名（英文）Conservation of Authenticity and Identity for Artworks

研究代表者

平 諭一郎（Taira, Yuichiro）

東京藝術大学・学内共同利用施設等・特任准教授

研究者番号：10582819

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究により、美術よりも表現形態が拡張された芸術作品をこの先いかに保存していくのか、また将来の再展示（再演）を見据えて何を守り伝えていくのか、何をもって同一な作品として継承されるべきなのかを再考した。特に、複製、模倣、移行、再制作という行為が生じやすい現代の芸術作品にとって必要となる指示書について考察した内容を展覧会として公開し、成果を書籍として出版した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

芸術とはなにかを追求することも、ひとつの芸術表現のあり方であり、そのような作品の、何をどのように保存していくのかは、芸術作品を芸術たらしめる本質に関わるものである。それは、展覧会や美術館、作品や書籍といった様々なフォーマット自体を問うことにもつながるため、それらのメディアにおいて一般に公開することで社会へ問いを広げようとした。

研究成果の概要（英文）：We reconsidered how to preserve artworks, whose forms of expression have been extended beyond fine art, in the future, and what we should protect and pass on to the next generation in anticipation of future reexhibitions, and what works of art should be passed on as identical.

We presented the exhibition and published the results in book form, which is an attempt to examine the reenactment and identity of artworks in the museum, starting by examining the instructions and drawings on the artworks, and materials held by universities which are the sites of art education, as new media.

The primary focus of the exhibition was not the display of artworks, but rather that of photographs and videos documenting past exhibitions, reference materials, and instructions for re-displaying the artworks.

研究分野：芸術の保存と継承

キーワード：芸術 保存 継承 同一性 アーカイヴ バイオメディア 再演 指示書

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

美術作品をコレクションする美術館は、現代において美術よりも表現形態が拡張された芸術作品をいかに収蔵、保管していくかを日々模索している。近代以降の合成材料や有機物、ビデオテープやデジタルデータ、バイオメディアを複合的に用いた複製、代替可能な作品群は、その保存において何を守り伝えていくのか、何ををもって同一な作品として継承されるべきなのかを、改めて問う必要があると考えた。

2. 研究の目的

本研究は、文化財の保存・修復と芸術の保存・修復の分野を接続し、双方の利点を取り入れることで、人工知能やバイオメディア、パフォーマンスのような現代的なメディアを用いた作品だけでなく、文化財や伝統的な美術品の保存・修復理念再考にも資するべく、芸術作品における真正性と同一性を定義し、その保存正否を表す臨界の存在を真に明らかにするものである。

3. 研究の方法

研究期間全体を通して(1)基礎的な研究の積み重ねと、集積された知見および考察内容を共有するための研究会の実施。(2)研究対象作品の選定および予備調査と制作準備。(3)研究成果発表展覧会の実施と論考集の発行。をおこなった。

(1)研究会：表象文化、美術品修復、生命美学、能楽、洞窟壁画、書道、写本、楽書、アーカイヴ、林業、まちづくり、儀礼などを専門とする研究者やアーティストを講師に迎え、計40回の研究会を実施した。研究会ごとに参加メンバーを変えながら、それぞれの立場で意見を交わすことで、研究の方向性を補正し、さらに研究会を拡大して、研究代表者および研究分担者に関じない形で開催する「芸術保存継承研究会」を大学の学生にも開くことで、本研究に興味がある研究者が気軽に参加できる体制を構築した。

(2)研究対象作品の調査：主に東京藝術大学大学美術館が収蔵する卒業制作品や自画像を対象に、研究対象作品の選定および予備調査を実施した。特に、インタラクティブ、バイオ・メディア、ミクスト・メディアをキーワードに、作品形態や指示書、作家の意向と、保存や継承、複製や移行が困難な作品を選定し、研究成果発表展覧会を通じた公開とともに、関連する資料調査や作家へのヒアリングも実施した。

(3)研究成果発表：成果発表としての展覧会に展示する作品の指示書や展示時の記録、作家の意図から、芸術作品における継承すべき核心を見定め、作家とともに真正性と同一性を考察した。その成果をもとに、令和3年8月31日(火)から9月26日(日)まで東京藝術大学大学美術館にて、展覧会「再演 — 指示とその手順(Re-Display: Instruction and Protocol)」を開催した。また、展覧会の記録と論考をもとめた書籍を編集し、出版社より発行した。

4 . 研究成果

本研究により、美術よりも表現形態が拡張された芸術作品をこの先いかに保存していくのか、また将来の再展示(再演)を見据えて何を守り伝えていくのか、何をもって同一な作品として継承されるべきなのかを再考した。特に、複製、模倣、移行、再制作という行為が生じやすい現代の芸術作品にとって必要となる指示書について考察した内容を展覧会として公開し、成果を書籍として出版した。

同書では、芸術作品の再演(再展示)において参照される指示書や記録写真、映像を取り上げ、そこに含まれる手順や仕様、指示内容によって作品はどのように再現されるのか、作品の同一性をいかに継承していくのか、について問うている。書籍を通じて、再演は何をもって同一な作品(もしくは同一な体験)であることを保証するのか、展覧会における指示書のあり方について考察している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 平論一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 再演と同一性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 再演 指示とその手順	6. 最初と最後の頁 12, 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 熊澤弘	4. 巻 1
2. 論文標題 東京藝術大学の卒業制作コレクション	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 再演 指示とその手順	6. 最初と最後の頁 54, 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 熊澤弘	4. 巻 1
2. 論文標題 卒業制作コレクションと「記録収蔵」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 再演 指示とその手順	6. 最初と最後の頁 174, 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎秀雄	4. 巻 11
2. 論文標題 時間軸の代謝：「人工細胞と人工知能の慰霊」について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代生命哲学研究	6. 最初と最後の頁 27, 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yuichiro Taira	4. 巻 1
2. 論文標題 Re-Display and Instructions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Past/Present: Collecting, Exhibiting and Conserving Contemporary Art in Asia	6. 最初と最後の頁 55,55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Hiroki, Fukasawa Yuki, Shoji Yu, Hisamoto Shumpei, Kikuchi Tomohiro, Takamatsu Atsuko, Iwasaki Hideo	4. 巻 21
2. 論文標題 Scattered migrating colony formation in the filamentous cyanobacterium, Pseudanabaena sp. NIES-4403	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Microbiology	6. 最初と最後の頁 1,17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12866-021-02183-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平諭一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 バイオ・アートと継承のアーカイヴ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 美術手帖2021年4月号	6. 最初と最後の頁 74,75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川聖	4. 巻 1
2. 論文標題 ベートーベン ミーツ「オズの魔法使い」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 コンサート「AIベートーヴェン」	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平諭一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 芸術は保存しなければならないのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術と保存・科学2019	6. 最初と最後の頁 55-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平諭一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 芸術の保存と継承	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本写真学会誌83巻1号	6. 最初と最後の頁 47-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平諭一郎	4. 巻 234
2. 論文標題 保存・修復の歴史において現代はそんなに特別か	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立国際美術館ニュース	6. 最初と最後の頁 4, 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計49件(うち招待講演 16件/うち国際学会 14件)

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 科学研究の民主化: DIY-BIO
3. 学会等名 Gallery Fu研究会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 「音楽 生命」メタファーを巡って：生物リズム、科学史、芸術
3. 学会等名 日本時間生物学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 ゲノム合成、合成生物学と芸術
3. 学会等名 ゲノム合成ELSIサロン（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideo Iwasaki
2. 発表標題 metaPhorest: our bioaesthetics approach
3. 学会等名 Biohacking Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄、石橋友也、新倉健人
2. 発表標題 aPrayer 3.0 ~まだ見ぬ人工知能の慰霊について
3. 学会等名 第40回AI美芸研「人工知能美学芸術展：美意識のハードプロブレム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideo Iwasaki
2. 発表標題 Bioethical issues on DIY bio/bioart
3. 学会等名 Bioart Workshop "Synthetic Biology and Art" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hideo Iwasaki
2. 発表標題 metaPhorest, Culturing <Paper>cut, and aPrayer
3. 学会等名 Bioart Workshop "Synthetic Biology and Art" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 熊澤弘
2. 発表標題 藝大美術館コレクションを活用した教育研究活動 芸術教育の「教材」として、社会に開かれた「芸術資産」として
3. 学会等名 2022 第三屆亞洲文物保存修復研討會 現況與展望 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 熊澤弘
2. 発表標題 「東京美術学校」の東アジア留学生に関する基礎研究の諸相 東京藝術大学所蔵美術作品および史料を中心に
3. 学会等名 台湾近現代彫刻の黎明 シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柴玲子、濱野峻行、駒米愛子、森岡緋沙子、川畑秀明、古川聖
2. 発表標題 インタラクティブ参加型アートによる動機付け・コミュニケーション効果促進の検討
3. 学会等名 日本音楽療法学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideo Iwasaki
2. 発表標題 Biaoesthetics for simultaneous performance of biological studies and art practice.
3. 学会等名 BioClub & Biohack Academy (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 「音楽 生命」メタファーを巡って
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所フォーラム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 バイオ(メディア)アートについて
3. 学会等名 JST SCiREX講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平諭一郎
2. 発表標題 「作品」の再演と再展示
3. 学会等名 パシエ音響彫刻研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuichiro Taira
2. 発表標題 Re-Display and Instructions
3. 学会等名 Past/Present: Collecting, Exhibiting and Conserving Contemporary Art in Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 metaPhorestの活動とゲノム編集について
3. 学会等名 Gallery Fu研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuichiro Taira
2. 発表標題 Identity between elements that make up the artwork and the viewing experience
3. 学会等名 2021 Art and Conservation Conference "What did 'The More The Better' bring to us? (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hideo Iwasaki
2. 発表標題 On an introduction to aPrayer project
3. 学会等名 BioSummit 5.0 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 生命美学の試み：生物時計から人工細胞の慰霊まで
3. 学会等名 マルチスピーシーズ研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 熊澤弘、伊藤達矢、森純平、五十殿彩子
2. 発表標題 東京藝大卒業生の作品はコミュニティに変化を起こすのか!? ー多様性を育む駅ビルのチャレンジ
3. 学会等名 VIVAオープンレクチャー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 歌いのオートポイエシス
3. 学会等名 早稲田大学超域哲学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 アウトリーチではないバイオ（メディア）アートの勧め
3. 学会等名 日本動物行動学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 水野みか子、古川聖、椎名亮輔、柿沼敏江、嶋津武仁、Sharon Kanach(CI, Rodolphe Bourotte(CIX)
2. 発表標題 Meta-Xenakis コンソーシアムの始動とクセナキス・センターCIX について
3. 学会等名 JSSA(先端芸術音楽創作学会)第45回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 熊澤弘
2. 発表標題 「密を避ける」ための苦悩ーコロナ渦における藝大美術館の学芸員課程
3. 学会等名 大学博物館等協議会2021年度大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 クラインの壺を生きるための生命美学
3. 学会等名 京都フォーラム “想像力という 資本 来るべき社会とアートの役割 ”
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 Biogenic Timestampを巡る時間論
3. 学会等名 日本時間学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平論一郎
2. 発表標題 美術品の複製や復元の可能性
3. 学会等名 長野県立美術館
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平論一郎、岩崎秀雄、山下林造
2. 発表標題 シアノバクテリアを用いたバイオメディア・アートの蘇生
3. 学会等名 文化財保存修復学会第43回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 クラインの壺の作り方
3. 学会等名 技術死生学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 生命の創造と慰霊の関係性を巡って
3. 学会等名 シンポジウム「いのちと技術」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 熊澤弘
2. 発表標題 自画像と肖像画
3. 学会等名 「企画展「自画像展 ~ひとみの中に自分がいる~」」関連プログラム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 生命美学の試み：生物時計から人工細胞の慰霊まで
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Iwasaki Hideo
2. 発表標題 About metaPhorest platform
3. 学会等名 Berlin-Tokyo Viral Cloud Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 生命美学：科学者が科学以外の表現方法を持つこと
3. 学会等名 東京大学Kavliファンダメンタルズトーク
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 バイオアートについて
3. 学会等名 JST RISTEX「社会実験」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Iwasaki Hideo
2. 発表標題 Bio-related art practice to live in Klein bottle-like structure
3. 学会等名 Proc. EIH Symposium (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中野信子、熊澤弘
2. 発表標題 「脳から見るミュージアム アートは人を耕す」刊行記念トークイベント
3. 学会等名 銀座 蔦屋書店
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hayato Mitsui, Hiroko Terasawa, Takayuki Hamano, Norihisa Miki, Kiyoshi Furukawa
2. 発表標題 Can we really use ERP for media arts? Assessing the feasibility of P300 detection for interactive performances
3. 学会等名 International Conference for Asia Digital Art and Design 2020(ADADA 2020) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Iwasaki Hideo
2. 発表標題 Art for living in Klein bottle
3. 学会等名 Berlin-Tokyo Viral Cloud Meeting (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平諭一郎
2. 発表標題 芸術は保存しなければならないのか
3. 学会等名 国際シンポジウム 近現代美術の保存と修復：日韓（韓日）の現状と今後にむけて（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平諭一郎
2. 発表標題 芸術の保存と継承
3. 学会等名 画像保存セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古川聖, 藤井晴行, 茂木一司
2. 発表標題 サウンド ドローイング プロジェクト 空間と”かたち”、空間になる、空間を演奏する
3. 学会等名 共創学会第3回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井晴行, 古川聖, 濱野峻行
2. 発表標題 建築が夢見る音楽－空間と音楽の共創
3. 学会等名 共創学会第3回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古川 聖, 濱野峻行
2. 発表標題 衛星測位システムを利用した音環境システム「ソニックウォーク」の開発と利用について
3. 学会等名 JSSA (先端芸術音楽創作学会) 第40回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古川聖, 藤井晴行, 茂木一司
2. 発表標題 研究報告：サウンド ドローイング プロジェクト- 空間楽器, 空間を演奏する-創作楽器について
3. 学会等名 JSSA (先端芸術音楽創作学会) 第41回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀨野峻行、古川聖、藤井晴行
2. 発表標題 建築空間と音楽に共通の体験構造に基づくクロスモーダル表現の創出
3. 学会等名 JSSA (先端芸術音楽創作学会) 第41回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 クラインの壺を生きるための芸術：生命の臨界をめぐって
3. 学会等名 シンポジウム「デジタル社会の多様性と創造性 アートとファッションの新展開」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 生命と非生命：児玉幸子作品を巡って
3. 学会等名 シンポジウム「生命と非生命：メディアアートの視座から」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩崎秀雄
2. 発表標題 Culturing <Paper>cutについて
3. 学会等名 文化庁メディア芸術祭アワード・コンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 日比野克彦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 現代企画室	5. 総ページ数 264
3. 書名 日比野克彦 明後日のアート	

1. 著者名 日本科学史学会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 758
3. 書名 科学史事典	

1. 著者名 Ed. Carl Hirschle Johnson, Michael Joseph Rust	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Cham	5. 総ページ数 415
3. 書名 Circadian Rhythms in Bacteria and Microbiomes	

1. 著者名 高野明彦、嘉村哲郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 アートシーンを支える	

1. 著者名 中野信子、熊澤弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 講談社現代新書	5. 総ページ数 222
3. 書名 脳から見るミュージアム	

1. 著者名 人知能美学芸術研究会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 人知能美学芸術研究会	5. 総ページ数 448
3. 書名 S/N：S氏がもしAI作曲家に代作させていたとしたら	

1. 著者名 岩崎秀雄（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 美術出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 AKI INOMATA: Significant Otherness 生きものと私が出会うとき	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>平論一郎「よみがえるということ（宇佐美圭司展レビュー）」 https://bijutsutecho.com/magazine/review/24384 平論一郎「創造と併走する、現代の美術におけるデジタルアーカイブ」 https://artscape.jp/study/digital-achive/10167898_1958.html 展覧会「再演 指示とその手順」 https://taira.geidai.ac.jp/archives/projects/6</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岩崎 秀雄 (Iwasaki Hideo) (00324393)	早稲田大学・理工学術院・教授 (32689)	
研究分担者	熊澤 弘 (Kumazawa Hiroshi) (20313314)	東京藝術大学・学内共同利用施設等・准教授 (12606)	
研究分担者	古川 聖 (Furukawa Kiyoshi) (40323761)	東京藝術大学・美術学部・教授 (12606)	
研究分担者	薩摩 雅登 (Satsuma Masato) (80272657)	東京藝術大学・学内共同利用施設等・教授 (12606)	削除：2020年9月25日

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
米国	スミソニアン・フリーア美術館		